

## 市長に聞きました

# 一 般 質 問

平林ちえみ議員の一般質問

## 子どもの医療費助成制度を利用しやすくせよ！



平林議員は、小学校卒業までの医療費助成制度について、独自のアンケート調査を行った結果は、88%の方が現物支給（窓口で200円を払うだけでよい）を望んでおられ、「申請するのを忘れてしまいそう」という方が70%もありました。

お母さんたちは、子育てに、仕事に大変忙しく、市長が提案している償還払い（いったん窓で全額を支払い、後で申請をして振り込んでもらう）では、大変不便です。乳幼児の制度と同じ、現物支給にすることを強く求めました。

## 急がれる峰山学童保育所への途中入所

学童保育所は、共働き家庭にとってはどうしても必要です。実施されているのは、峰山、大宮、網野のみで、市全域での実施を望む声が多くあります。

しかも、峰山では30名の定員に56名の申し込みがあり、入所出来なかった子ども達は、一人でお母さん達が帰ってくるまで留守番していなければなりません。早急に受け入れ体制を取り子どもの安全を確保すべきです。



松田 せいけい議員の一般質問

## 市立病院への財政的援助で安心の医療体制作れ

市立病院への援助が、旧町時代に比べ大きく減らされています。（久美浜病院で昨年比で約5,000万円少ない）各病院での経営改善を行うのは当然ですが、安心の医療体制確立のためにも、財政的援助は必要です。今後の補正で行うよう迫りました。市長は、「久美浜病院の場合は、常勤医師の確保ができ、医療サービスの体制が安定し、経営的に改善の傾向がある。」と、減額の理由を答弁しました。今後については、「現状の援助だけで大丈夫かどうかの検討は必要。今後、病院側からも話しを聞き、患者のみなさんに不安を与えることのないような、経営体制づくりのため、適切な対応をしていきたい。」と



答えるにとどまりました。引き続き安心してかかれる医療体制作するため全力でがんばります。

## 美浜原発の重大事故から学べ

美浜原子力発電所3号機で、11人の死傷者を出すという重大事故が起きました。一歩間違えば、原子炉が溶けさらに重大な事故につながります。

このように、原発に安全神話などなく、危険であることを訴えました。



森 まさる議員の一般質問

## 低所得者への支援を強化せよ



長引く不況の元、市民の暮らしは大変厳しくなっています。低所得者の方々にとってはさらに大変です。国保税が払えない人が増えています。ところが、国保の減免申請に行くと、大量の書類の提出や、資産調査の同意書（世帯全員の収入・預金・資産・生保・勤務先への問い合わせなどがされ

る）の提出までが義務づけられ、申請は今までより7割減となっています。人権への配慮もない同意書の撤回を迫ると同時に、支援策として国保税の減免制度の拡充と国保医療費の一部負担免除実施を求めました。

市長は「弱い立場の人たちを、みんなで支え、自分で立ち上がれるようにしていきたい。そのための支援、補助をしていく。」と回答。しかし、同意書提出については、「税法の質問検査権に基づいて、調査は可能。」と、撤回はしませんでした。議会後、市当局より議員団に申し入れがあり、重ねて同意書撤回を迫る交渉を行いました。市当局は「検討をさ

せてほしい、窓口での対応は、もっとていねいに行うよう徹底する。」との対応にとどまりました。今後もねばり強く働きかけ実現めざします。

国保医療費の一部負担免除実施については、質問の事前通告後、担当部長より「大宮町から申請が出ており、実施する方向でいる。」と報告にきました。

## 融資制度が実現しました

6月議会での森議員の質問で、中小業者への融資制度創設を迫るなか、7月1日より、1業者1,000万円までの商工業振興融資制度が実現しました